



「比和自然科学博物館だより」として、新情報や収蔵展示資料の紹介などをしていきます。紹介した展示資料が館内のどこにあるのか、探してみると楽しいですよ！

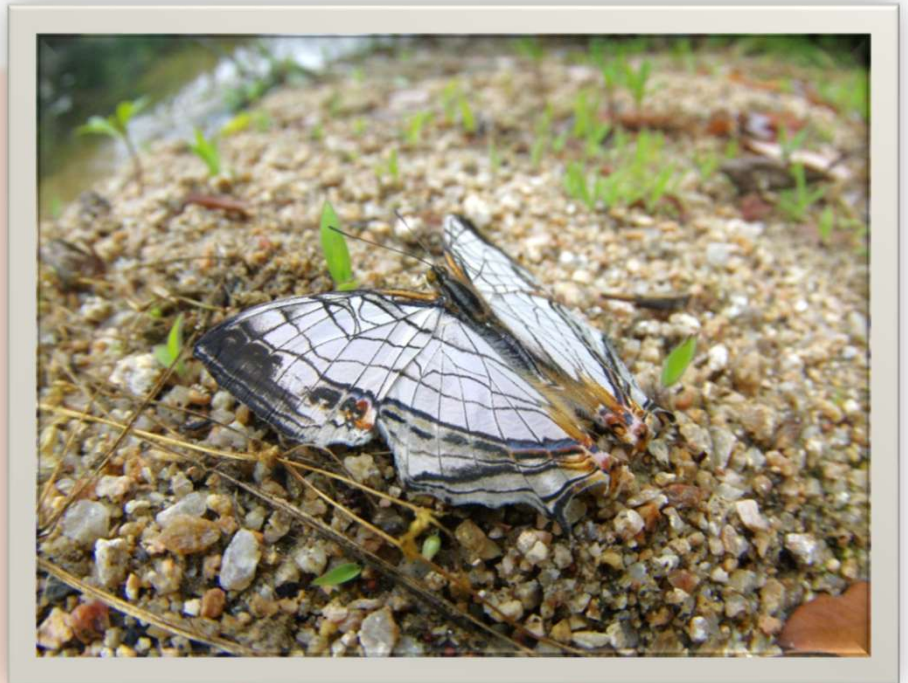
※展示標本と写真の個体は同じではない場合がありますので、ご了承ください。

今月の推し虫

和名: イシガケチョウ

学名: *Cyrestis thyodamas*

石垣（石崖）のような模様をもつチョウで「イシガケチョウ」です。白地に黒い線が網目状にはいり、前ばね前端が黒色、前ばねの付け根と後ばねの後端がオレンジ色と、目立ちそうな色彩なのですが、岩場に止まっていると、どこにいるのか、わからなくなります。



紙切れが風に吹かれて飛んでいるような飛び方をし、花に来るほか、よく地面で給水する姿も見られます。

イシガケチョウの属するタテハチョウ科の多くは、とまるとき「はねを立ててとまる」ので「立羽チョウ」なのですが、イシガケチョウは写真のようにはねを水平に開いてとまることがほとんどです。

暖地のチョウですが、次第に分布を北へ拡大しています。幼虫はイヌビワなどのイチジクの仲間の植物を食べます。広島県の内陸部ではイチジクを利用して生活しているようです。春から秋まで何世代か繰り返します。

【解説：秋山美文（比和自然科学博物館客員研究員）】

